

2022年12月21日

小泉博昭 外国出張はつらいよ（思い出の輸出ビジネス）

【欧州編】

「France」

* 仕事が終わった後、少林寺拳法 3 段の電機会社系商社の相棒と、ムーランルージュでニコール・キッドマンを探しに散策。正面のお店に入り、地下に案内され座ったが、誰も側に来ず、黒ずくめの男がビールを持って来ただけで 10 分が過ぎたので階段を上がり IF のホールで請求書を見たら、20 万円ほどだったので、文句を言ったら、屈強の男達が 5, 6 人我ら 2 人を取り囲み凄んで来た。で、お土産で買っておいでんでん太鼓を指に挟み、相棒の少林寺拳法の型を真似、ブルース・リーの声を張り上げたところ、黒ずくめは遅れを為した様だったので、一気に外に走り出た処、誰も追いかけて来なかった。来なかったが、怖かった！？



「Italy」

* 街の出店で買い物がてら冷やかしながらの市場調査。高級ブランドの Watch, Bag などが山の様、寅次郎宜しく競り喧しく売られていた。某超大商社の相棒がよくよく査定すると、そこは偽ブランドの宝庫。Dupont は Tupont、Cartier は Gartier、Burgaria は Purugaria、Burberry は Burverry、、、だった。違いが判かりますか？偽物を本物のブランドで売っているのではなく、偽ブランドの偽の本物を売っているのでは、詐欺ではないのかも？

